

総合交通モデル都市柏

～次世代型環境都市モデルへの展開～

平成24年2月22日



柏市土木部道路交通課

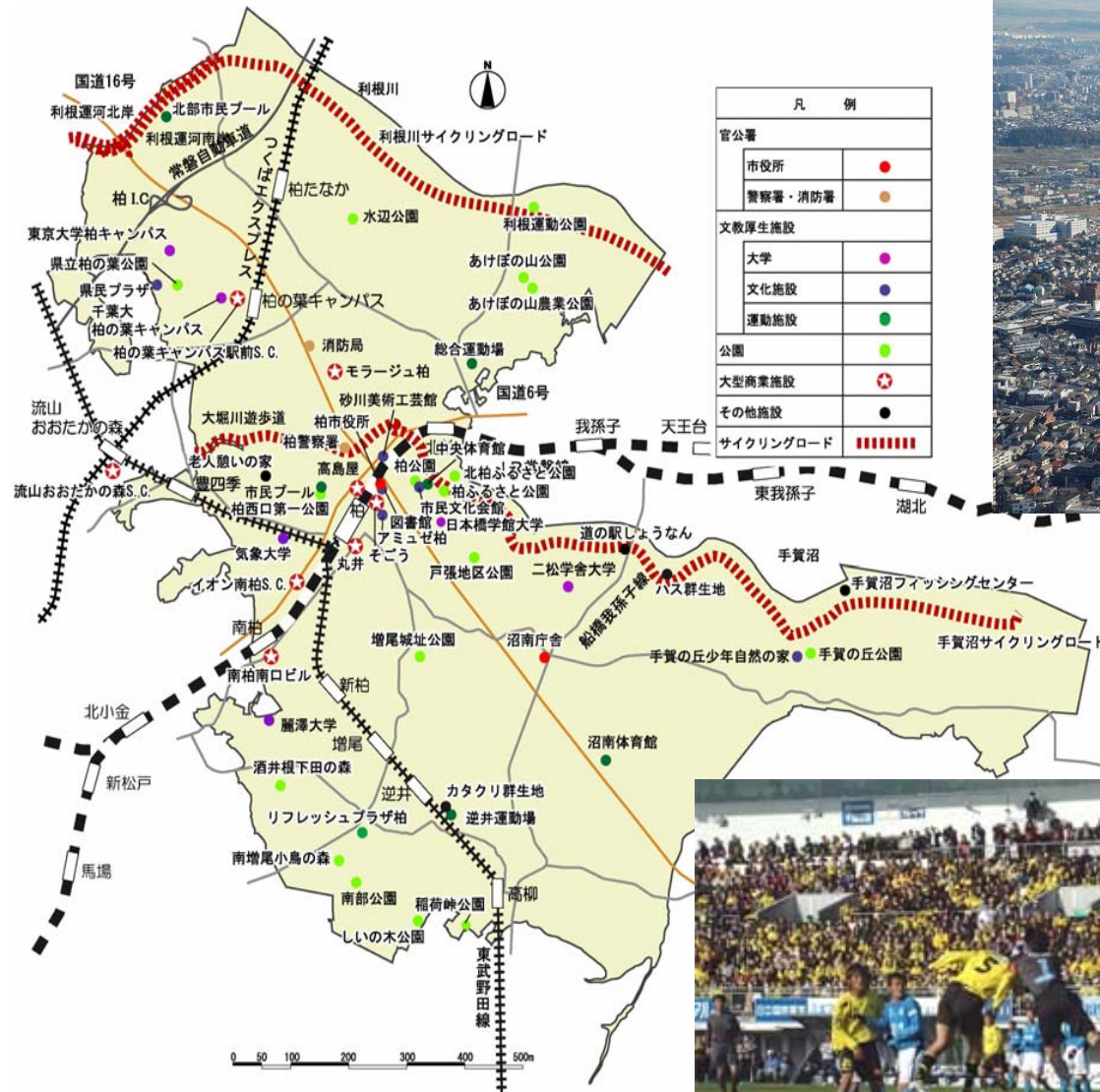
柏地域について ～都心から30kmの通勤圏～



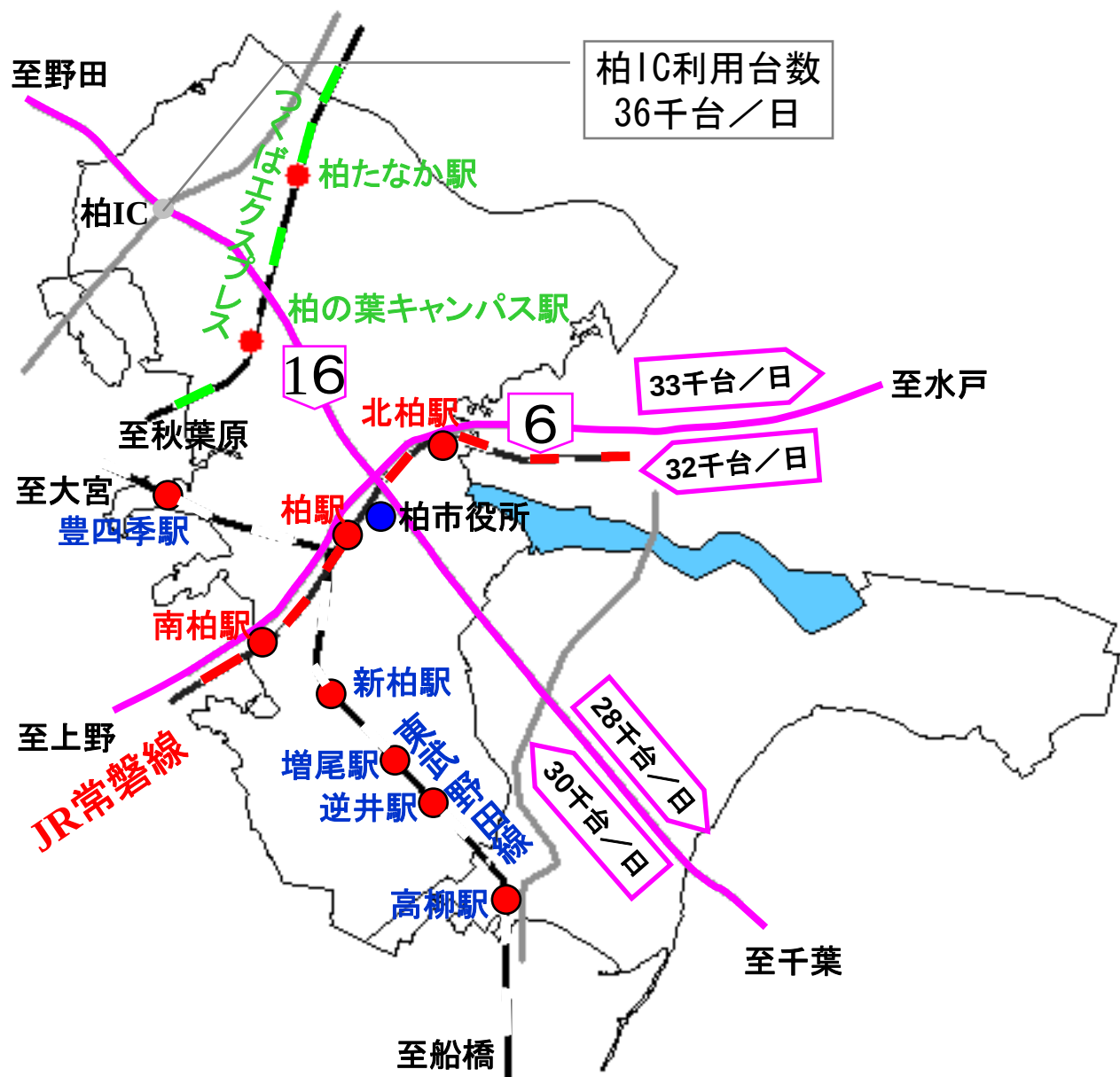
- ・人口 40.5万人
- ・世帯 16.4万世帯
(H23.1 2.1現在)
- ・面積 114.90km²
地勢は概ね平坦
南北 約15km
東西 約18km
標高 0～32m



柏市の紹介



柏市の交通概要



乗車人員/日		単位：千人
JR	柏駅	120
	北柏駅	20
	南柏駅	32
東武	柏駅	70
	豊四季駅	7
	新柏駅	10
	増尾駅	7
	逆井駅	7
	高柳駅	6
TX	柏の葉 キャンパス駅	12
	柏 たなか駅	3
合 計		294

(平成22年)

柏市の交通機関

鉄道

JR常磐線

起終点：日暮里駅～岩沼駅



JR常磐線（緩行線）

起終点：北千住駅～取手駅



東武野田線

起終点：大宮駅～船橋駅



つくばエクスプレス

起終点：秋葉原駅～つくば駅



タクシー

柏地区タクシー協会

加入事業者数 13社



バス等

東武バスイースト(株)

市内46系統



阪東自動車(株)

市内9系統



ちばレインボーバス(株)

市内4系統



松戸新京成バス(株)

市内2系統



かしわコミュニティバス

市内2系統



かしわ乗合ジャンボタクシー

市内3系統



高速バス

成田空港交通(株)

起終点：成田空港～松戸駅、仙台駅



東武バスイースト(株)

京浜急行バス(株)共同
起終点：柏駅～羽田空港

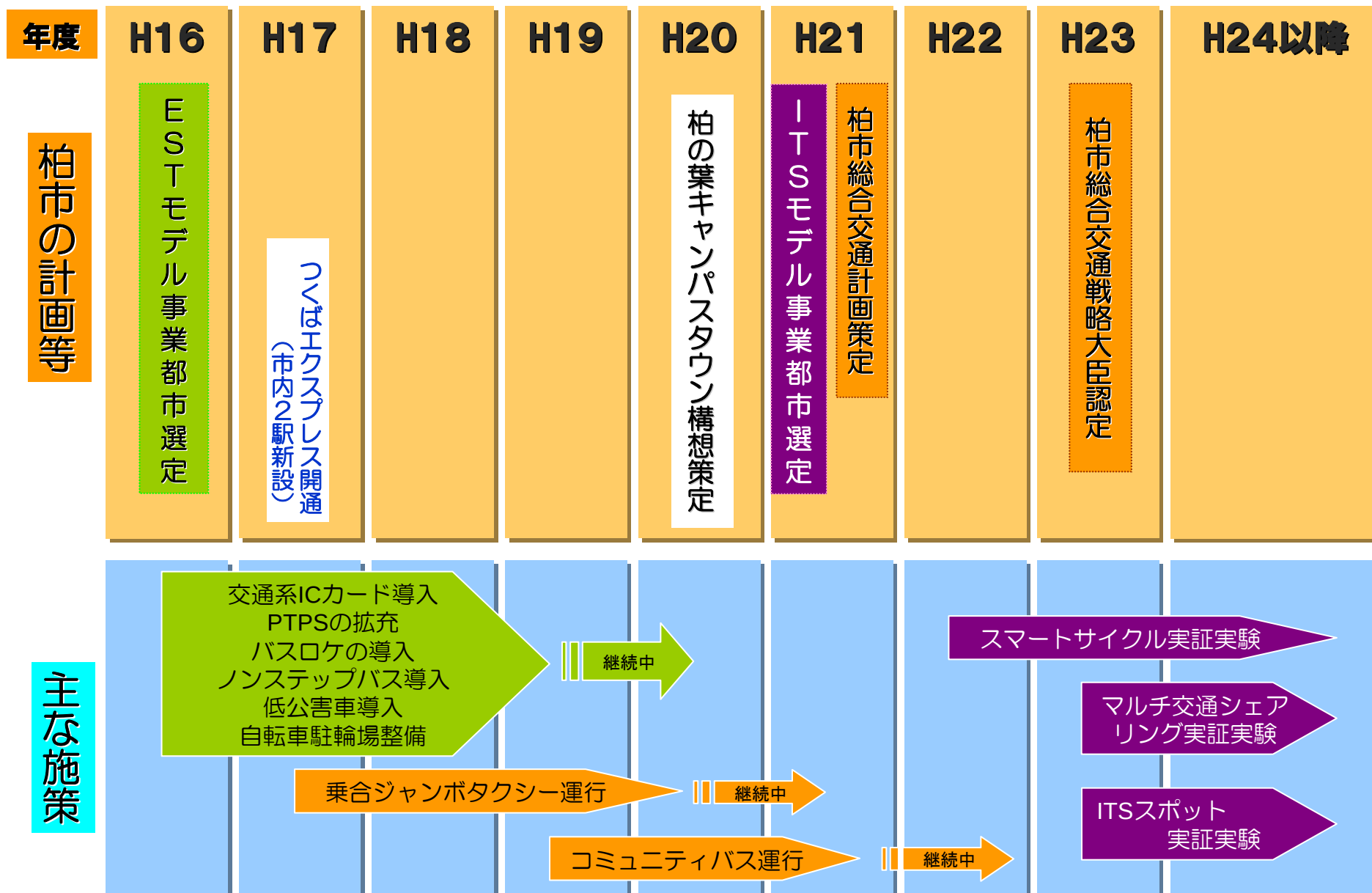


東武バスイースト(株)

(ミッドナイトアロー号)
起終点：有楽町マリオン前～我孫子駅



柏市の交通施策の取組み概要



柏市におけるESTの取組み

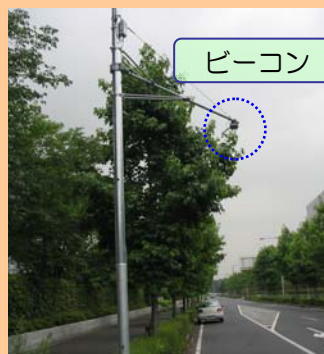
バス交通の充実

バス路線の
整備・延伸

交通系ICカードの導入



PTPSの拡充



バス運行情報の提供
(バスロケーション
システム)



アクティブシニア
外出ガイド
(社会福祉協議会作成)

実際のコースを体験
するツアーも実施



連携

かしわコミュニティバス・
かしわ乗合ジャンボタクシーの運行



柏市におけるESTの取組み

交通の円滑化

タクシープールの適正化 (ショットガン方式)



市役所駐車場の
半分を活用



遠隔監視モニタ



駅前通り

渋滞情報の提供 (市のホームページにて ライブカメラ映像を公開)



柏市ホームページ

荷捌き帯の設置



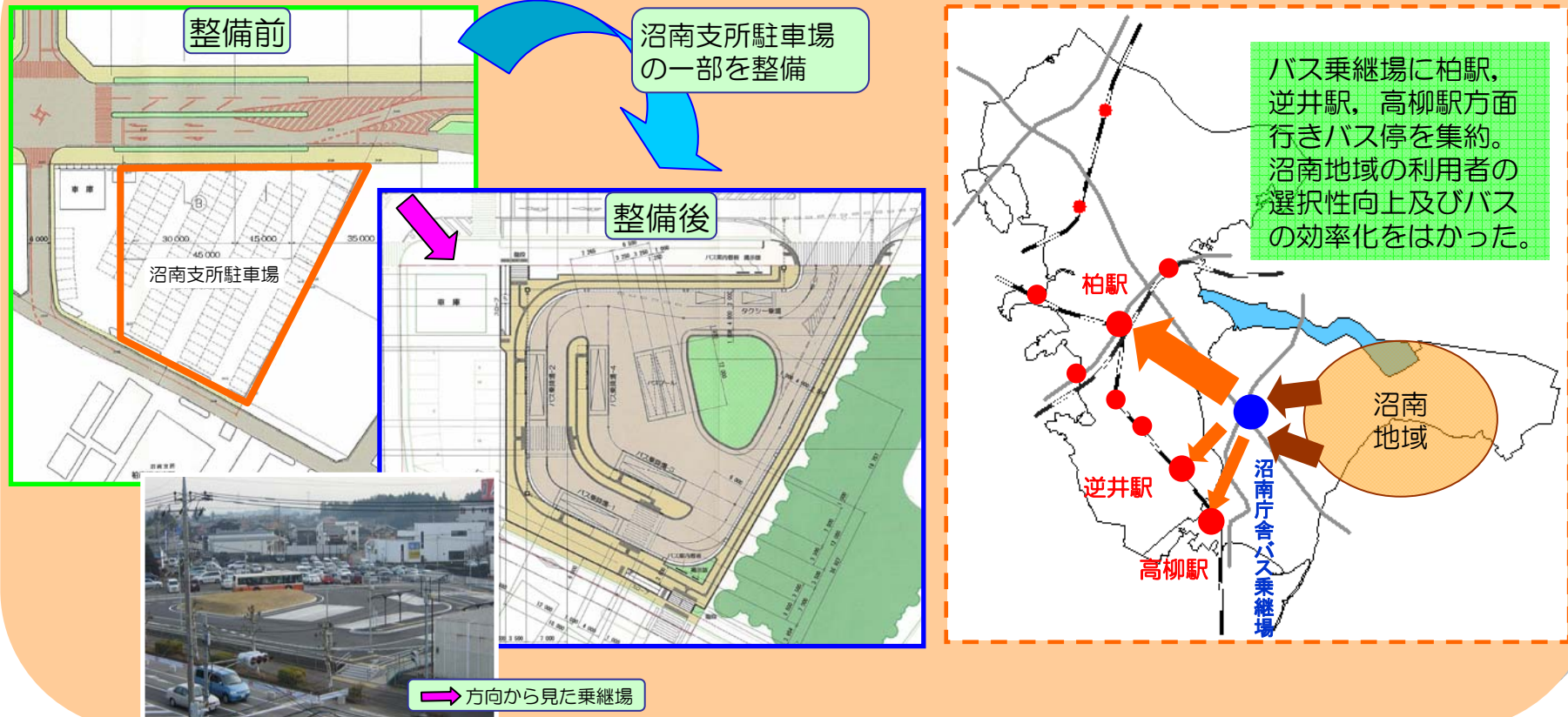
通行帯

荷捌き帯

柏市におけるESTの取組み

交通の円滑化

交通結節点の整備（沼南庁舎バス乗継場）



柏市におけるESTの取組み

交通バリアフリー

駅のバリアフリー

駅名		エレベーター 設置状況		多目的 トイレ
		駅の中	駅の外	
J R	柏	○	○	○
	南柏	○	○	○
	北柏	○	24年度予定	○
東 武	豊四季	○	○	○
	柏	○	○	○
	新柏	○	○	○
	増尾	○	○	○
	逆井	○	○	○
	高柳	×	×	×
T X	柏の葉キャパス	○	○	○
	柏たなか	○	○	○

市内11駅中9駅
バリアフリー化済



バスのバリアフリー

車種	合計
ノンステップバス (大型, 中型, 小型計)	160台
ワンステップバス (大型, 中型計)	28台
一般車両 (大型, 中型, 小型計)	0台
ステップリフトバス (小型)	12台
合計	200台

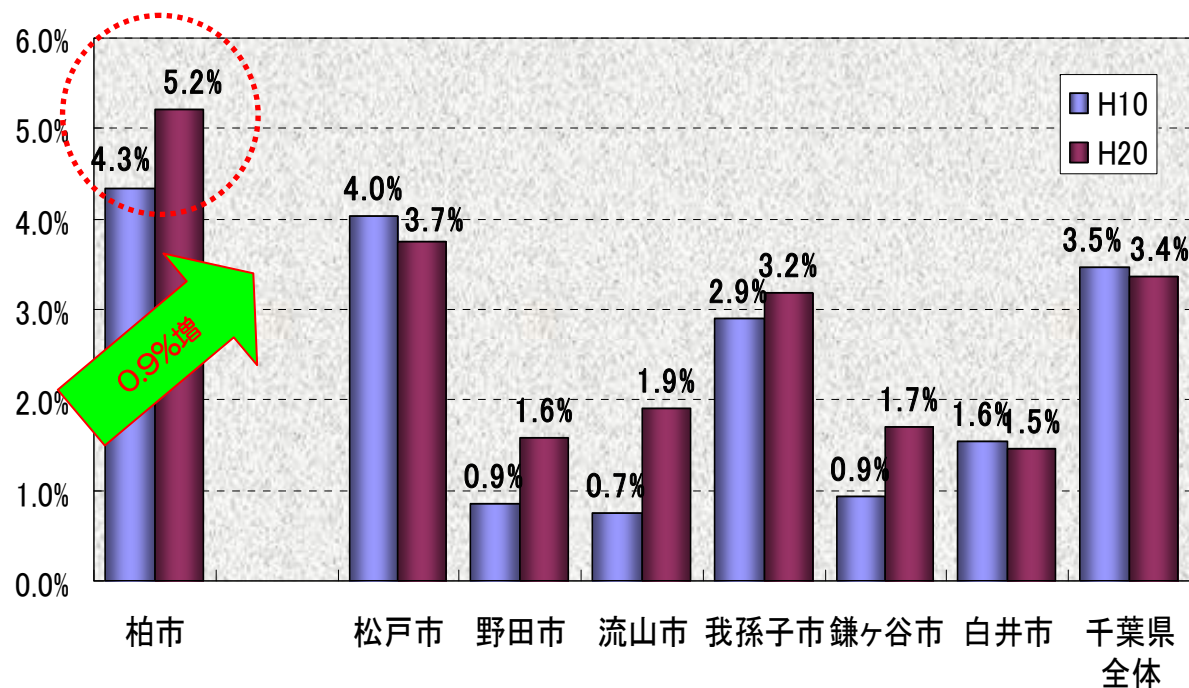


※平成23年3月末現在
(市内の主なバス事業者2社における乗合車の車両内訳)

ノンステップバス導入率80%

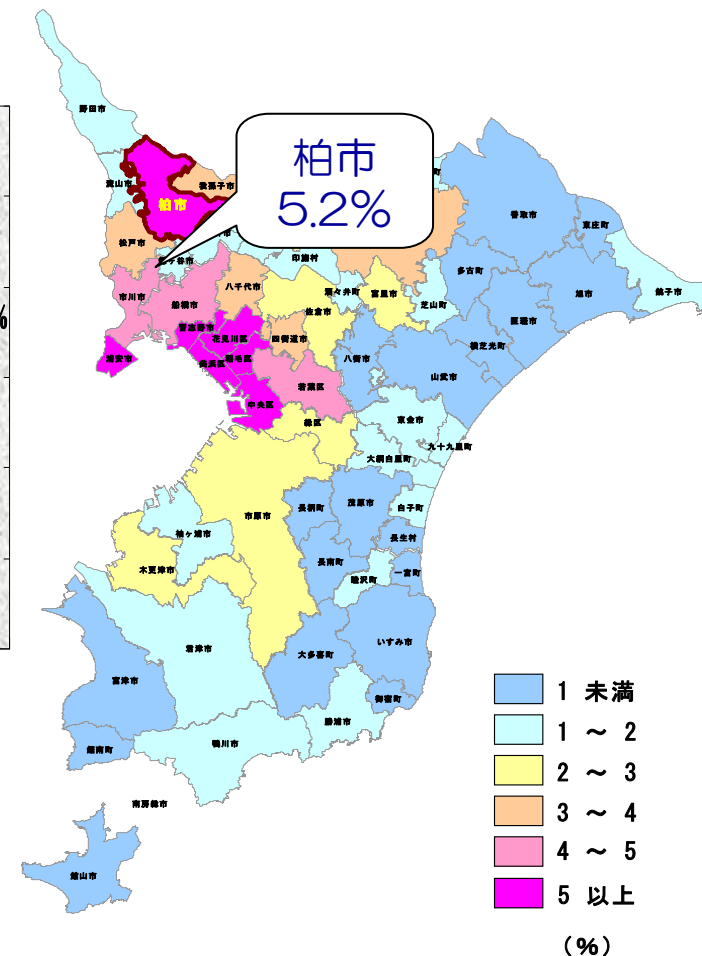
バス交通施策の効果

バス分担率が4.3%(H10) → 5.2%(H20)に増加！



■ 柏市及び周辺のバス分担率推移 (H20/H10：代表＋端末)

(出典：H20東京都市圏パーソントリップ調査)



■ 市町村別バス分担率 (H20：代表＋端末)

柏市におけるESTの取組み

低公害車導入・エコドライブ

低公害車導入

(平成18年に国土交通省よりCNG車普及促進モデル事業の実施地域として指定)



路線バス(CNG)



塵芥車(CNG)



公用車(CNG)

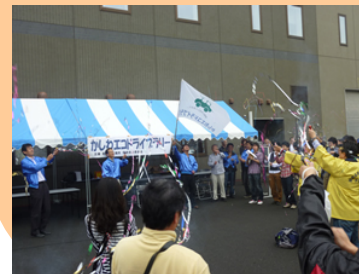
エコドライブ教習会

環境と財布にやさしいエコドライブのコツを実際に車に乗って体験し学ぶ



エコドライブラリー

市内のお店を回り燃費を競う

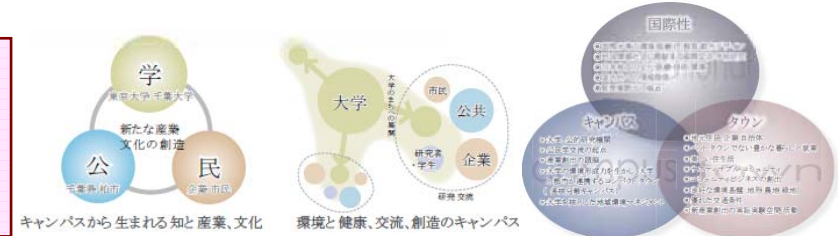


柏の葉キャンパスタウン構想

平成20年3月に、千葉県・柏市・東京大学・千葉大学が連携し、「国際的な学術都市」、「次世代環境都市」を実現する「柏の葉国際キャンパスタウン構想」を策定。

【理念】

柏の葉国際キャンパスを形成するために、公・民・学が連携し、キャンパスとまちが融和した創造的環境の中で、最先端の知・産業・文化が育まれる「国際学術都市」、優れた自然環境と共生し、健康で高質の居住・就業環境が実現される「次世代環境都市」を実現する。



理念 (公民学連携による国際学術研究都市・次世代環境都市) 柏の葉国際キャンパスタウン	目標 1	環境と共生する田園都市づくり 脱炭素社会モデルとなる緑地保全や持続型開発による『環境空間』と市民や企業の『環境行動』を誘発する	方針	1 『緑地ネットワーク』を保全し強化する 緑被率40%を維持 2 持続性の高い開発や建築の『柏モデル』を普及する 街区の緑化率25%、CO2削減35%を達成 3 市民生活を環境共生型に改める
	目標 2	創造的な産業空間と文化空間の情勢 TX沿線の知の集合を生かし、高度な新産業の育成と創造産業の集積を図る	方針	1 TX沿線の広域連携により世界水準の『100産業創出』と『10企業誘致』を進める 2 つくばと秋葉原の集積を結び『TX-ナレッジ・ネットワーク』を構築する 3 既存産業の高次化、環境改善と競争力の強化を図る
	目標 3	国際的な学術空間と教育空間の形成 世界をリードする研究機能と地域に開かれた学術空間が街に展開する新たな国際学術都市のスタイルを確立する	方針	1 世界をリードする研究や教育の機能を強化する 『1の研究や教育の機関』を誘致 2 外国人の研究者や学生が暮らしやすい住環境を整える 『1000人の外国人研究者・学生等の活動』を支援 3 柏の葉から世界の最先端で活躍する人材を育成する 4 地域と大学や研究機関との連携により独自の文化や空間をつくる
	目標 4	サステナブルな移動交通システム 自転車や公共交通を中心に地球と人に優しい移動環境を整備する次世代交通の総合的な実験成果を展開する	方針	1 世界の環境交通モデルとなる移動のシステムを整える 2 歩行者と自転車の楽しい移動を可能とするネットワークをつくる 『自転車分担率の10%増加』 3 自動車利用を減らすために総合的な施策を展開する 『自動車分担率の10%の低下』
	目標 5	キャンパスリンクによる柏の葉スタイルの創出 環境に優しく健康に暮らす柏の葉スタイル、また豊かな交流や文化芸術を創造する	方針	1 健康で快適な生活空間と環境行動の「柏の葉スタイル」を定着させる 2 多様な住み方、暮らし方ができる住宅を供給する 『キャンパスリンク住宅を10%』 3 農や食の文化を育む空間と生活を充実させる
	目標 6	エリアマネジメントの実施 安全で快適な環境と地域の価値を維持し向上させる地域経営組織を公民学連携で設立する	方針	1 環境・健康行動を普及し質を高めるマネジメントを行う 2 安全や魅力を生み価値を高めるマネジメントを行う 3 公民学の連携で自立したマネジメントを行う
	目標 7	質の高い都市空間のデザイン 先進の環境空間計画とデザインマネジメントにより都市と生活の質を高める “いい街がいい人（研究者、生活者）を呼び”	方針	1 キャンパスのように緑溢れる自由な都市空間をつくる 2 大学が街へ広がる学園の道（University Axis）をつくる 3 緑の中に多様な活動が見える緑園の未知（Green Axis）をつくる 4 UDCKを中心にアーバンデザインを実現する 5 アーバンデザインを柏地域や沿線地域へ広める
	目標 8	イノベーション・フィールド都市 世界の最先端の技術や文化が展開する都市としてスパイラルアップする	方針	1 国際学術研究都市をアピールする 2 実証実験の支援と実現プログラムを提供する

ITS実証実験モデル都市としての展開

※ITS・・・
Intelligent Transport Systems

- ・H21：内閣府より 全国で4番目（豊田市、横浜市、青森市、**柏市**）に選定
- ・H22：行政、大学、企業の51団体で構成する「**柏ITS推進協議会**」を設立



ITS協議会メンバー
柏市, 東京大学, (株) 日立製作所, 富士通 (株), 三菱電機 (株), 三井不動産 (株) 等

柏ITS推進協議会

作業部会	部会長	検討事項
第1部会	東大 牧野准教授	パーク&ライド, 駐車場ITS, 次世代観光ITS等
第2部会	東大 堀教授	次世代自動車（キャパシタ）, 高齢者向け車両等
第3部会	東大 大和教授	オンデマンド交通, カーシェア, 自転車シェア等
第4部会	東大 須田教授	LRT, パーソナルモビリティ等
第5部会	東大 桑原教授	交通情報データベース化等
第6部会	東大 池内教授	全体統括。ITSのある魅力ある都市の将来像検討

実証実験

ITS実証実験イメージ



ITS実証実験における具体的取組み

シェアリング実証実験

発展型

かしわスマートサイクル (コミュニティサイクル)

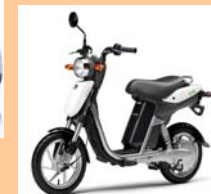


実験期間：H22年4月～継続中
【利用実績】H23.12.31現在
登録者数：690名
延べ利用回数：8000回
1日平均利用回数13.1回
回転率：0.38回/台・日
平均利用時間：27分/回

マルチ交通シェアリング (電気自動車+電気バイク+自転車)



実験期間：H23年6月～継続中
【利用実績】H23.10.31現在
登録者数：187名
延べ利用回数：629回



ITS実証実験における具体的取組み

ITSスポット実証実験

ITSスポット概要

柏市域におけるITSスポットでのインターネット接続サービス

柏市域におけるITSスポットでのインターネット接続サービス

ITSスポット対応カーナビでは、柏市域の道の駅等の3箇所に整備されたITSスポットで、インターネット接続サービスを受けることができます。インターネット接続サービスでは、現在、以下のような情報を入手・閲覧することが可能です。



柏市域におけるITSスポットでのインターネット接続実施箇所



駐車場ITS



観光ITS

ITS スポット 道の駅と周辺施設のご案内

道の駅しょうなんのご案内

道の駅しょうなん施設案内

周辺施設のご案内

周辺地域情報 柏市イベント情報 ららぽーと柏の葉情報

交通情報

周辺道路 交通情報 P&R情報

Copyright © Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

ITS スポット 道の駅しょうなんレストラン情報

レストラン

営業時間 8～21時 年中無休

料理は本格中華

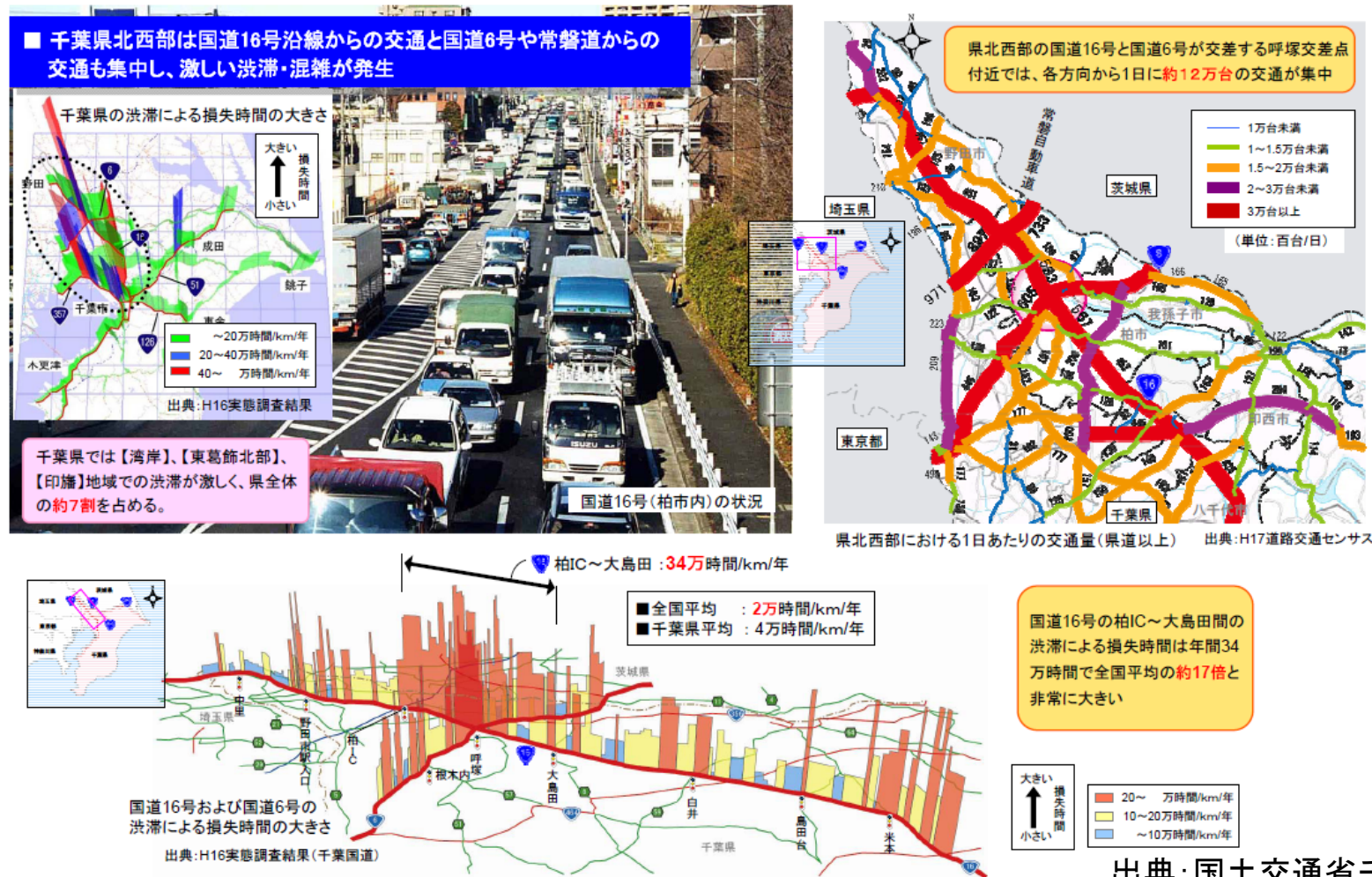
焼ききたパンも用意しております

Copyright © Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

今後のITSの取組み

課題：中心市街地及び幹線道路の慢性的な交通渋滞

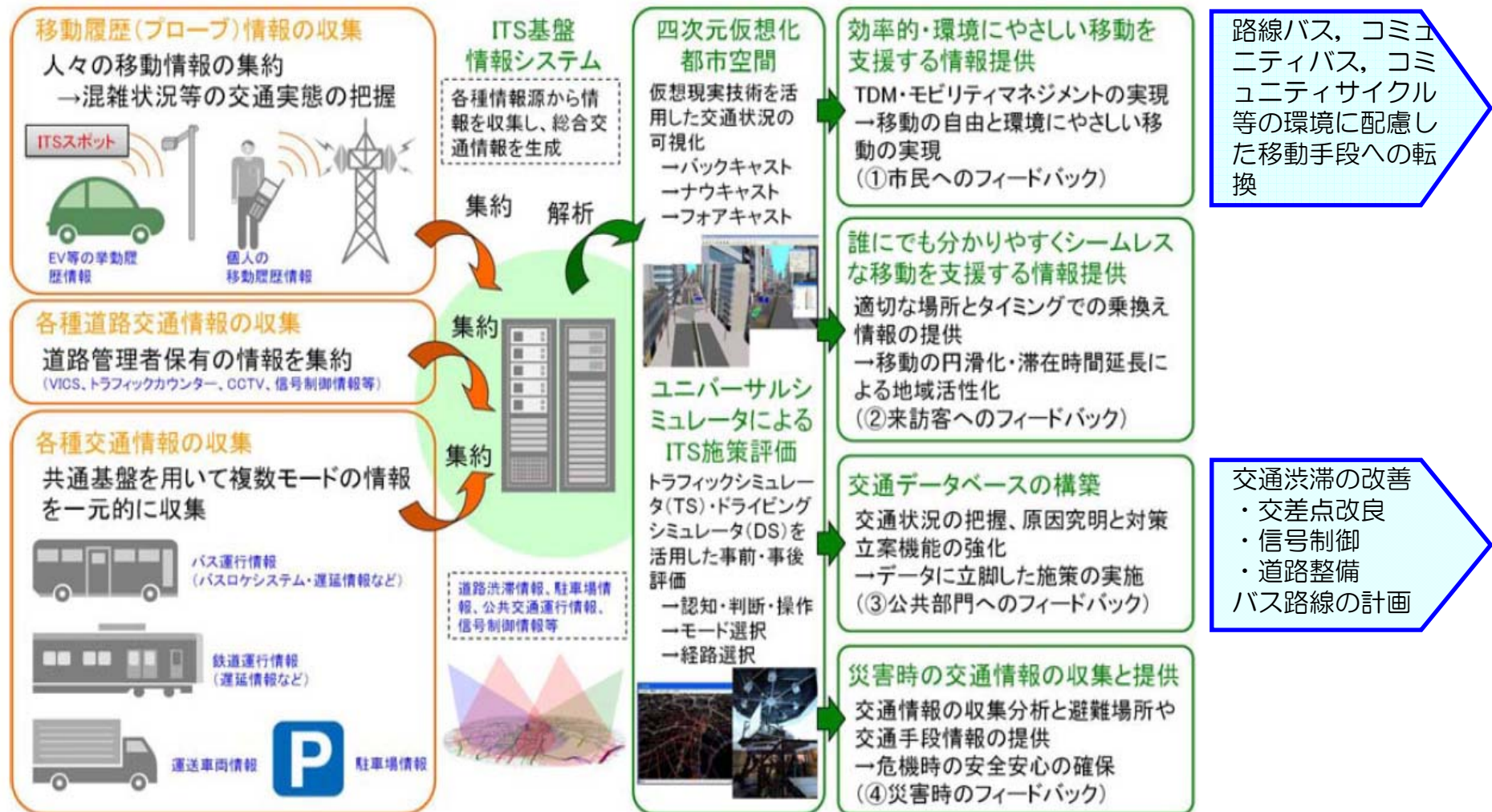
国道16号や周辺道路の現状(渋滞状況)



出典：国土交通省千葉国道事務所

今後のITSの取組み

ITS情報センターの構築



柏市総合交通戦略に基づく今後の取組み

2) 社会資本整備総合交付金の活用事例

～『都市・地域総合交通戦略』に基づく施策の推進～

②「都市・地域総合交通戦略推進事業」を基幹事業とした計画のイメージ

【市街地整備】

都市・地域総合交通戦略に基づく施策を進めるに当たり、都市・地域交通戦略推進事業が基幹的である場合には市街地整備分野として社会資本整備総合交付金を作成することが適当である。

活力創出基盤整備分野との役割分担及び連携を踏まえて、都市・地域交通戦略推進事業を基幹事業として位置づけ、これらと関連する街路事業を関連社会資本整備事業として位置づけることが考えられる

【基幹事業】

《相互に連携した多様な都市交通施設の整備》

【拠点地区の整備】



自由通路の整備



バリアフリー施設の整備

【情報提供システムの導入】



バスロケーションシステム整備

【公共交通利用環境整備】



バス停の整備

【コミュニティサイクルの整備】



サイクルポートの整備

+

【関連社会資本整備事業】

《基幹事業と一体的に実施する交通施設の整備等》

【BRTの導入】



BRT導入空間の整備

【自転車走行空間整備】



自転車専用道の整備

+

【効果促進事業】

《公共交通の魅力の向上等》

【コミュニティバスの導入】



コミュニティバス車両の購入

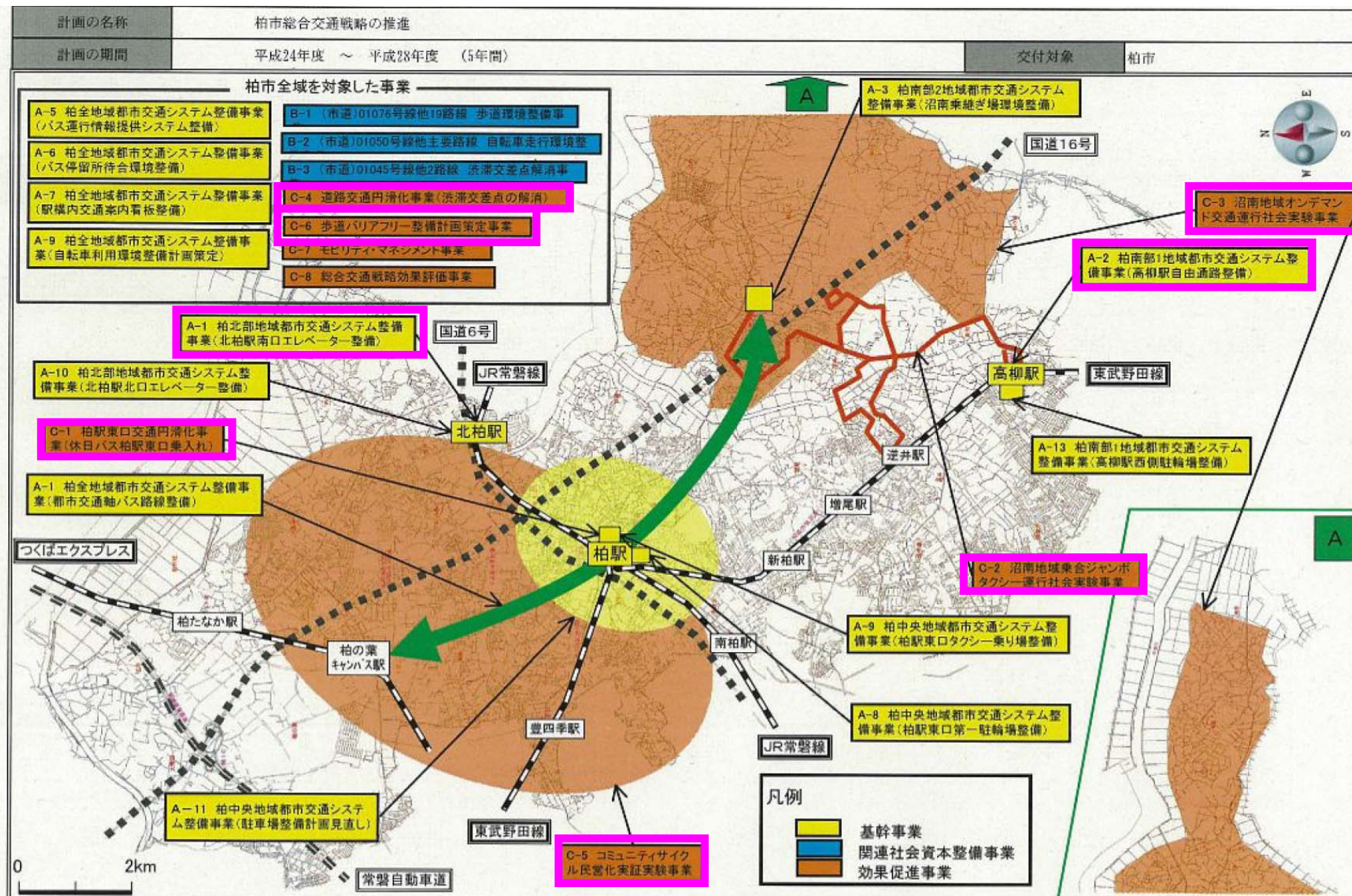
【公共交通の利用促進 ・中心市街地賑わい創出】



トランジット・モール社会実験

社会資本総合整備事業計画(案)

：24年度事業予定



An aerial photograph of a city, likely Tokyo, showing a river, a bridge, and several modern high-rise buildings. The city extends to the horizon under a clear sky.

第3回EST交通環境大賞を受賞させていただきました
ありがとうございました。



ご清聴ありがとうございました。